



文部科学省外国人留学生学習奨励費受給者留学報告書

1.アルファベット氏名	PARK HUIGYEONG	非公開
カナ又は漢字氏名	パク ヒギョン	
2.出身国又は地域	韓国	
3.学年	学部3年	
4.学校名	岩手大学	
5.学種	大学学部	写真 タイトル
6.所属研究科・学部等名	理工学部 化学・生命理工学科 化学コース	
7.学習奨励費受給期間	開始年月 20 22 年 4 月 ~ 終了年月 20 23 年 3 月	
<p>(1) 日本への留学まで</p> <p>留学を決める前、小学生から独学で日本語を勉強していたため、日本に留学することを一つの目標として考えていた。中学生までは普通に趣味ぐらいの日本語だったため真剣に悩んでいたことはなかったが、高校生になってから大学への進学を悩んでいたところに先生と両親との相談により他よりは少し遅いかもしれないが、高校2年生から日本の大学に進学することを決心した。他よりも遅いスタートだったため、EJUの準備に追われる日々だった。そのためTOEICやTOEFLを両立に準備する時間まではなかった。韓国では習ったことない内容もあったため色々大変だったが、国別に勉強する内容とか何を大事に思っているのかとかの違いがあって面白い部分もあった。</p>		
<p>(2) 日本での留学生活</p> <p>進学先が決まった後に新型コロナウイルスの影響により1年間休学することと1年間のオンライン講義により同い年とブランクができてしまった。そのため、3年という学年でもまだ2年のカリキュラムを習っている。日本に着いて対面授業を受け始めたのは、今年の5月であるため、新しい生活に馴染むことと勉強をすることなどはすごく大変だった。一人暮らしも初めての経験だったため、家族のない生活は自分には大変な経験だった。今は少しずつ色んな人と会い、勉強を楽しく感じている。最近では他の学部の日本人の方とも会話する機会が増えて、まだ新たな経験が多くあることに胸を躍らせている。</p>		
<p>(3) 日本での就職活動・進学</p> <p>2年生のカリキュラムを習っている今ではまだ就職をするか、進学をするかは決まっていない。もし、就職をすることになった場合には日本の大学で習った知識を生かして日本での就職をしたいという希望はある。3年生からはキャリア支援室などに訪問して将来何をするか決めたいと考えている。</p>		
<p>後輩へのメッセージ</p> <p>日本の大学を受験すること自体が同じ高校を通う友達と違い大変なことが多いと思います。しかし、苦労の後に楽しい大学生活が待っていると考えると頑張れる源にあると思います。頑張ってください！</p>		


文部科学省外国人留学生学習奨励費受給者留学報告書

1.アルファベット氏名	GUO KAI	
カナ又は漢字氏名	郭 凱	
2.出身国又は地域	中国	
3.学年	4	
4.学校名	新潟大学	
5.学種	大学学部	写真 タイトル 北沢浮遊選鉱場跡 (佐渡島)
6.所属研究科・学部等名	工学部知能情報システムプログラム	
7.学習奨励費受給期間	開始年月 20 22 年 4 月 ~ 終了年月 20 23 年 3 月	
<p>(1) 日本への留学まで</p> <p>私は中学生のころからアニメをきっかけに日本の文化を知ることができ、関心を持つようになりました。高校卒業後、進路を考えたとき、「日本へ留学してみたい」という考えが頭に浮かんで、日本へ留学することに決めました。アニメをよく見るとはいえ、日本語の能力がほとんど伸びませんでした。日本語を学ぶために、留学最初の行き先は日本語学校を選びました。</p>		
<p>(2) 日本での留学生活</p> <p>日本語学校が九州に位置しますので、初めて行く所も九州でした。九州は私の故郷と気候が大違しますので、最初は苦労しました。一か月後には、慣れていて、非常に住みやすいところとは感じました。日本語学校では、日本語だけではなく、日本社会のルールや日本の文化までも勉強できました。学校での学びに加え、アルバイトで実際に体験することで、日本社会や文化への理解がだんだんと深まりました。この間に大学入試の準備として、TOEFLや日本能力試験とEJUテストなども独学で勉強して、最後に新潟大学に入学することができました。大学に入ると、学習にかかる時間が多くなり、アルバイトの時間も減少しました。学習奨励費のおかげさまで、経済的な負担が減少し、専門的な知識と教養科目の勉強に集中できました。その結果、幅広い知識を身につけ、国際交流活動も沢山参加し、大学生活を有意義に過ごすことができました。</p>		
<p>(3) 日本での就職活動・進学</p> <p>卒業後は、大学院へ進学します。知らないことを勉強して解けることが好きですので、将来は博士を目指し、研究者になれるように頑張ります。</p>		
<p>後輩へのメッセージ</p> <p>留学の難しいところは、勉強するよりも外国での一人暮らしだと私は思います。大学受験のとき、学習と生活の圧力で諦める人も少なくないので、諦めずに最後まで頑張ってください。</p>		


文部科学省外国人留学生学習奨励費受給者留学報告書

1. アルファベット氏名	ZHU TIANXIANG	
カナ又は漢字氏名	朱 天翔	
2. 出身国又は地域	中国	
3. 学年	1	
4. 学校名	富山大学	
5. 学種	大学学部	写真 アパートの階下で見つけた蛇ちゃん タイトル
6. 所属研究科・学部等名	工学部工学科機械工学コース	
7. 学習奨励費受給期間	開始年月 20 22 年 4 月 ~ 終了年月 20 23 年 3 月	
<p>(1) 日本への留学まで</p> <p>高校卒業後、国内の志望大学に入学できなかったため、海外留学を選びました。私は生活の変化に消極的で、これまで国外へはもちろん、自分の住んでいる都市からもほとんど出たことがありませんでした。そこで留学への選択肢が出てきた後、自分が成人するための「儀式」として、私は留学に挑戦することをしました。高校時代に趣味として日本語を学んだことがあるため、日本語の先生に相談したら、あまり考えずに日本への飛行機に乗り込みました。</p>		
<p>(2) 日本での留学生活</p> <p>新型コロナウイルスの影響で、2年間の日本語学校の半分がオンライン授業になりました。その間、一緒に頑張っている多くの仲間に出会い、実家から離れた生活にすぐに慣れることができました。学生たちは努力を絶やさず、さまざまな経験を交流した後、それぞれ別の大学に進み、私も富山大学工学部に合格しました。授業中には分からないこともあり、学生同士の交流も日本語が不慣れでできないこともありますが、困難に立ち向かう気持ちを続けられる限り、どんな事も乗り越えられると信じています。大学生活はもう半年が過ぎましたが、私にとって新鮮なことはまだまだたくさんあります。毎日出かけるのは新しい冒険です。</p>		
<p>(3) 日本での就職活動・進学</p> <p>大学を卒業後、大学院に進学したいです。機械工学は現代社会の発展の基礎です。新しい機械を開発・製造することは、人間という知的生物の道具利用の結晶と考えています。大学で教えてくれる知識は、私が将来やりたいことを実現するにはまだまだ足りず、これから多くの事を勉強する必要があります。</p>		
<p>後輩へのメッセージ</p> <p>決定をして、第一歩を踏み出すのは困難なことです。ただ、自分がいずれかの道を選択した時、同じ道にいるのは自分だけではないことに気づけます。留学先での生活は多くの問題に直面するため、自分で責任を取ることを意識しなければなりません。しかしながら、困難に遭遇しても、周りは助けてくれる人がたくさんいることを気づき、困難と思っていることも意外と困難ではなくなります。</p>		


文部科学省外国人留学生学習奨励費受給者留学報告書

1.アルファベット氏名	ZOU MINGHAO	
カナ又は漢字氏名	スウ メイコウ	
2.出身国又は地域	中国	
3.学年	1回生	
4.学校名	京都工芸繊維大学	
5.学種	大学学部	写真 タイトル 嵐山の紅葉
6.所属研究科・学部等名	応用化学課程	
7.学習奨励費受給期間	開始年月 20 22 年 4 月 ~ 終了年月 20 23 年 3 月	
<p>(1) 日本への留学まで</p> <p>中国の高校でたいくつな2年間をすごしました。三年生の時に偶然でアニメやゲームなど様々な海外文化と出会いました。この世の中には、今の人生と比べてもっと素晴らしい生き方があることをはじめて気づきました。このままたいくつな人生を続けないように、三年生の後半で留学を決意しました。準備不足のせいで、初めはとっても大変でしたが、今から見るとあの時に留学を決めるのはたぶん一番正しい選択だと思います。</p>		
<p>(2) 日本での留学生活</p> <p>日本の留学生活が忙しいです。準備万全の他の留学生と比べ、私は基本的に全く準備していないまま日本にきました。初めごろには、本当に大変でした。日本語は半年しか学んでいない、日本での進学などについてまったく考えていない、さらに生活費も足りなかったのです。そういうことで、平日は日本語学校で勉強、週末は工場でアルバイト、とても忙しい日々を過ごしました。大変だけど、充実した日々を送りました。今大学を通過しても平日は勉強、夜や週末はコンビニでアルバイトをしました。奨学金をもらったおかげで、休みの時に旅行の余裕がありました。沖縄の海、京都の紅葉、北海道の雪、東京のコミケ…様々なきれいな風景を見に来て、様々な文化や活動を体験しました。これまで最も充実した楽しんだ時間を過ごしました。</p>		
<p>(3) 日本での就職活動・進学</p>		
<p>後輩へのメッセージ</p> <p>日本語記述があまり得意ではない人にとって、定期試験より2,000字の課題レポートの方がもっと大変です。コースを登録する時に真剣に考えてください。</p>		

文部科学省外国人留学生学習奨励費受給者留学報告書

1.アルファベット氏名	LI JIAQI	
カナ又は漢字氏名	李佳骐	
2.出身国又は地域	中国	
3.学年	1	
4.学校名	大阪大学	
5.学種	大学学部	<small>写真 タイトル</small> 夏休み友人と伊勢で旅行
6.所属研究科・学部等名	非公開	
7.学習奨励費受給期間	開始年月 20 22 年 4 月 ~ 終了年月 20 23 年 3 月	
<p>(1) 日本への留学まで</p> <p>私は小さい頃から日本興味を持っていました。最初はただ日本の流行文化に関心を持って日本語の勉強を始めましたが、日本の文化や社会についての理解を深めるにつれ、日本での生活に憧れ、留学することを決めました。</p>		
<p>(2) 日本での留學生活</p> <p>来日したばかりの時に日本語力の不足かつ新たな環境に不慣れなため大変でしたが、日本語学校での一年の勉強を通じて、無事に大学に進学し、日本人の友達もたくさんできました。また、奨学金をもらうことができ、金銭面み時間面も余裕ができました。今は学習と遊びのバランスに気をつけながら、大学での生活を楽しんでいます。</p>		
<p>(3) 日本での就職活動・進学</p> <p>今はまだ決めていません。</p>		
<p>後輩へのメッセージ</p> <p>日本で留学してよかったと思います。今まで見たことのない風景が見れ、日本での留學生活が非常に貴重な思い出になると思います</p>		


文部科学省外国人留学生学習奨励費受給者留学報告書

1.アルファベット氏名	LEI SHUANGMING	
カナ又は漢字氏名	ライ ソウメイ	
2.出身国又は地域	中国	
3.学年	1	
4.学校名	横浜市立大学	
5.学種	大学学部	写真 タイトル 朝の横浜金沢
6.所属研究科・学部等名	理学部	
7.学習奨励費受給期間	開始年月 20 22 年 4 月 ~ 終了年月 20 23 年 3 月	
<p>(1) 日本への留学まで</p> <p>正直に、慣れている生活環境で安定な生活を送りたい私が、勇気を出して両親の許可をもらい、今本当に従来と異なった生活が体験できたと思いませんでした。中学校の時、日本の東京、大阪、京都など様々な有名都市を旅行しました。当時は秩然に動くやや早い生活ペースに惹かれ、将来日本で勉強、就職する機会があればいいなと初めて思いました。高校が終わり、数月間で日本語を生活できる水準に備え、日本について沢山調べ、テンション高く日本での新生活を迎える準備を進めていましたが、生憎なことにコロナ禍で国内に封鎖されてしまいました。残念な気持ちでしばらく落ち込んでしまいましたが、日本語のほかに、大学に入るための理系知識も必要だと気づいて、日本語で理系の勉強をはじめました。お陰で望ましい勉強と研究ができる大学に合格し、「日本への留学まで」の努力はよかったと思っています。</p>		
<p>(2) 日本での留学生活</p> <p>私は勉強を中心にした生活を送っています。だとしても、やはり日本語能力の不足で授業に困っています。いつも自分が持っている知識と知見が足りないと思いつつ、体験し勉強し続けています。できる限り悔いのない充実した大学学習生活を送りたいと思います。また、内向的な性格であまり人いっばいのところに行きたくない個人原因もありますが、コロナ禍も原因の一つであり、今まで私はちゃんとした日本旅行ができていません。機会があったら、日本を一周し、日本の文化や景色、様々な面についてもっと知りたいと思います。</p>		
<p>(3) 日本での就職活動・進学</p> <p>「研究には、長く続けることが大切です」と大学の先生の言葉をいただきました。大学への進学は第一歩です。学部卒業後は大学院に進学し、研究を続けたいと思います。</p>		
<p>後輩へのメッセージ</p> <p>何かをやりたい・習得したいと思いついたら、早速初めてみましょう。役に立つ時が来たらそれがよかったと思うかもしれません。みなさんの楽しい、かつ充実した留学生生活を心より願っています。</p>		

文部科学省外国人留学生学習奨励費受給者留学報告書

1.アルファベット氏名	J	非公開
カナ又は漢字氏名	非公開	
2.出身国又は地域	韓国	
3.学年	1年生	
4.学校名	非公開	
5.学種	大学学部	写真 タイトル
6.所属研究科・学部等名	非公開	
7.学習奨励費受給期間	開始年月 20 22 年 4 月 ~ 終了年月 20 23 年 3 月	
<p>(1) 日本への留学まで</p> <p>学生の頃から日本の音楽が好きで、いつか好きな曲の歌詞を自分で翻訳できたらいいなと思って日本語の勉強を始めました。日本語は日本語学校でN2のレベルまで勉強しました。その後、日本に留学した時の楽しさが忘れられず、日本で勉強したくなり、母国に帰ってきてeju専門塾でejuの勉強をしました。</p>		
<p>(2) 日本での留学生活</p> <p>コロナのせいで、入学式には参加できず、リモートで授業受けていました。この理由で、来日した時は友達もできず、一人で学校生活を送りました。しかし、部活動を始めてからは段々友達も増えてきてすごく楽しい日本生活を送っています。</p>		
<p>(3) 日本での就職活動・進学</p> <p>大学を卒業したら、日本で、環境問題の解決や対策に取り組みたいと思います。</p>		
<p>後輩へのメッセージ</p> <p>留学試験の勉強も重要ですが、日本語がとても重要です。日本語の勉強頑張ってください。後、部活は入った方がいいと思います。</p>		

文部科学省外国人留学生学習奨励費受給者留学報告書

1.アルファベット氏名	LI JIAZHEN	
カナ又は漢字氏名	リ カチン	
2.出身国又は地域	中国	
3.学年	4年	
4.学校名	獨協大学	
5.学種	大学学部	写真 タイトル 通学中に見かけた夕日
6.所属研究科・学部等名	経済学部経営学科	
7.学習奨励費受給期間	開始年月 20 22 年 4 月 ~ 終了年月 20 23 年 3 月	
<p>(1) 日本への留学まで</p> <p>幼い頃から日本の様々なアニメに親しんできたので、実際に日本で生活して、学校で勉強してみたいと思っていました。</p> <p>高校在学時には、日本の文化などにより興味を持つようになっていたこともあり、大学進学の際には家族が留学を応援してくれました。</p> <p>海外で見聞を広めることで自分を成長させたい、自分の可能性を試したいと考え、日本に留学することを決めました。</p>		
<p>(2) 日本での留学生活</p> <p>来日後には、日本語能力試験に取り組みましたが、日本語の学習は難しく、このままでは良い留学生活ができないのではないかと考えていました。平日の日中に日本語学校で学び、夜間や週末には大学進学のための学習塾に通いましたが、毎日ストレスを感じて辛いことも多かったです。しかし、日本での留学を諦めたくないと考え、勉強を続けました。半年が経った頃に、日本語の文章読解・聴解のテストがよく理解できるようになりました。模擬試験などが良い成績であったことで、努力の成果を感じました。</p> <p>大学の入学試験前には、成績が伸び悩んだことから自信や希望を失ってしまい、諦めかけてしまったこともありましたが、今までの努力を無駄にしたいと考え、再度地道に頑張りました。</p> <p>その結果、大学入学とともに日本語のレベルを向上することができました。大学進学後も良い成績を維持することができたのは、これらの経験のお陰だと考えています。</p>		
<p>(3) 日本での就職活動・進学</p> <p>大学2年次開始を目の前にして、コロナ禍によってオンラインによる受講や行動制限を余儀なくされたことはとても残念でした。</p> <p>日本での就業を目指し、早期の行動を心がけていただけにインターンシップの中止なども痛手でしたが、最も苦勞したエントリーシート作成については、就職活動関連の各種ガイダンスに積極的に参加することで乗り切ることができました。</p> <p>大学での単位修得も順調であり、4年次の前半に内定を得られるなど、これまでの努力が実った日本留学であったと感じています。</p>		
<p>後輩へのメッセージ</p> <p>留学には、多くの辛いことや挫折もありますが、これらの経験や失敗から学びつつ、最終的に自分を成長させていくことが重要なのではないかと考えています。</p> <p>後悔をしないように、失敗を恐れず意欲的に行動してください。</p>		


文部科学省外国人留学生学習奨励費受給者留学報告書

1.アルファベット氏名	Y.L	非公開
カナ又は漢字氏名	非公開	
2.出身国又は地域	ミャンマー連邦	
3.学年	3	
4.学校名	非公開	写真 タイトル
5.学種	大学学部	
6.所属研究科・学部等名	非公開	
7.学習奨励費受給期間	開始年月 20 22 年 4 月 ~ 終了年月 20 23 年 3 月	
<p>(1) 日本への留学まで</p> <p>高校の時、日本の文化に興味があって日本語を独学で勉強しました。高校2年という非常時期で、最初には両親が日本語の勉強に賛成しませんでした。半年かけて独学しつつ、根気強いことで両親を説得しました。ミャンマーには、日本語で交流できるような人があまりいなかったため、ネット上で日本人や同じく日本語を勉強している人と毎週2、3回日本語の会話を練習しました。高校3年生になり、両親が決めてくれた進路を歩かず、日本に写真技術を学んで写真家になるという進路を決めました。反対な声もあったが、今まで努力してきたことがあった上、日本語認定試験N2まで取得したため、最後に日本への留学に至りました。</p>		
<p>(2) 日本での留学生活</p> <p>日本語学校にいた時、周りには自分と同じレベルの学生がいたため、日本語をより一層上達できるように勉強のほか、アルバイトをやり始めました。アルバイトを通して、接客能力を身につけ、日本語を以前よりスムーズに話せた上に日本社会についても認知できました。1年間、日本の生活を慣れつつ、自分が抱いた夢を叶えるために早い段階で大学の情報を手に入れ、積極的にオープンキャンパスや大学の面談などに参加していました。最後は目指した大学に進学しました。コロナ禍で大学1年生活を過ごし、授業は全部オンラインで受けて、今まで体験しなかったことを経験しました。2年生になり、やっと普通の大学生活を送り、カラー写真部という部活も参加し、学外に写真展覧会など開催しました。</p>		
<p>(3) 日本での就職活動・進学</p> <p>現在、大学3年生になり、就職活動をし始めました。インターンシップを探し、説明会に積極的に参加しました。広告写真業界を目指しているため、就職先は広告に関連する企業に絞りました。最近、ある広告会社を応募しましたが、面接で落としました。悔しいと思いましたが、自分がよくできない分部や不足点を見直してこれからも他の企業にチャレンジしていきます。</p>		
<p>後輩へのメッセージ</p> <p>夢があれば、自信と勇気を持って追えば良いと思います。どんな困難があっても、後悔を残さないように自分が選択した道を全力に進めてください。</p>		


文部科学省外国人留学生学習奨励費受給者留学報告書

1.アルファベット氏名	XU SIHAN	非公開
カナ又は漢字氏名	徐 思涵	
2.出身国又は地域	中国	
3.学年	4年生	
4.学校名	埼玉工業大学	
5.学種	大学学部	写真 タイトル
6.所属研究科・学部等名	工学部 機械工学科	
7.学習奨励費受給期間	開始年月 20 22 年 4 月 ~ 終了年月 20 23 年 3 月	
<p>(1) 日本への留学まで</p> <p>中国の大学で1年間ぐらい電気自動車に関わる知識を勉強しましたが、実験をする機会がなかったため、大学を退学をしました。その後ネットで調べると、日本の大学では設備などが充実しており、自らが学びたいと考えていたものづくりに関する技術を追求する際に最適な環境であったから、日本に留学したいと思うようになりました。</p>		
<p>(2) 日本での留学生活</p> <p>私は大学生時代勉学に励み、継続して努力し目標を達成する力を身に付けることができました。4年間ぐらい理系に関する知識を勉強しながら、日本語を勉強しています。毎日学校の授業が終わったら日本語教材を学習し、日本語能力試験を合格しました。日本人のように話せるように、これからも努力していきます。まだ、大学に入学した時、日本人と一緒に実験するのがすごく大変でした。たくさん言葉がわからないので、行動が違うこともありました。これは危険があるため、このような事故を避けるために実験前に必ず教材をしっかりと読んで、わからないことを調べました。このような対策をすれば実験が大変にならないです。その後は日本語がどんどん上手になり、日本人と一緒に実験を快適に進めることができました。授業でも同じ対策で徐々に慣れました。</p>		
<p>(3) 日本での就職活動・進学</p> <p>私が日本語学校に通う時、将来は日本で就職したいと思っていました。仕事を探すために日本語能力試験資格だけではなく、日本人と会話できるのは大切なことです。三年生の後期から就職活動に面接問答集とか面接マナーとか適性試験などいろいろな準備を始めました。四年生になったら積極的に就活を続けて、内定を頂きました。卒業した後に職場に入っても頑張っていきたいと思っています。</p>		
<p>後輩へのメッセージ</p> <p>留学の道は大変だけど、他の人と比べると自分が留学で貰った経験は沢山あると思います。嫌になることもあります。ただ自分の夢に向かって頑張れば、それに値する以上のものが返って来ると思います。自信を持って頑張ってください。</p>		

文部科学省外国人留学生学習奨励費受給者留学報告書

1.アルファベット氏名	WU WEN HSUAN		
カナ又は漢字氏名	吳玟璇		
2.出身国又は地域	台湾		
3.学年	3年		
4.学校名	共立女子大学		
5.学種	大学学部		写真 タイトル 富士山
6.所属研究科・学部等名	国際学部		
7.学習奨励費受給期間	開始年月 20 22 年 4 月 ~ 終了年月 20 23 年 3 月		
<p>(1) 日本への留学まで</p> <p>私、小さい頃から旅行で日本を訪れることが多くありました。毎回、日本で電車に乗るたびに、必ず人が読書する姿を見かけました。その時から、私も、日本人の勤勉さを身につけたく、学ぼうとし、日本に留学することを決意しました。日本語能力は初心者のままで、高校を卒業して、日本に留学に来ました。来日後、自分の選んだ日本語学校に1年間半を通いました。</p>			
<p>(2) 日本での留学生活</p> <p>日本語学校を卒業する前に、大学試験のために色々な準備や苦勞を重ね、多忙な日々を送りました。結果、無事に現在の大学からの入学通知書が届き、これからホッとしたいのんびりできると思いきや、大学生活は思ったより忙しく、最初は大学生活に慣れませんでした。アルバイトと学業を同時の兼ね合いが難しかったです。しかし、どんどん日本人の友達ができ、いつも私のことに気を配ってくれて、その時の私が友達に大変助けられました。その上、学習奨励費をもらうことで、私はより日本に留学する目的に近づきました。学習奨励費をもらうことにより、アルバイトの時間を減らし、学業の勉強以外に、自分の興味のある本を読んだりすることもできました。自発的な読書は、母国にいる私にはなかったことですが、日本に来て私が段々日本人の勤勉さを身につけたのでしょう。</p>			
<p>(3) 日本での就職活動・進学</p> <p>私は、将来日本で就職したいと考えています。グローバルなバックグラウンドがある私は、将来日本の航空会社の客室乗務員になりたいと考えており、現在もその方向に就職活動を進んでいます。自分が現在の学習である国際関係を将来の仕事に活かしたいと思い、元々の夢である日本と台湾の間の架け橋だけではなく、日本と世界の架け橋になりたいと考えています。しかし、日本の就職活動は何よりも大変なことであり、まだ授業の多い三年生の私にとって、就活と学業とアルバイトの3者兼ね合いが毎日24時間があっても足りないくらい、すごく大変でした。しかし、学習奨励費のお陰で、現在の私にとって最重要な就職活動を第一位にすることができました。</p>			
<p>後輩へのメッセージ</p> <p>外国での生活や留学はすごく大変だと思いますが、しかし、その一步を踏み出すあなたがすごいと思いますよ。これからも、悔いのない人生や留学をしてくださいね。何事に対しても、素直で責任を持って取り組んでいきましょう。一つ一つの経験を重ねることにより、将来の自分はキラキラで活躍できるようになりますので、諦めずに頑張りましょう。</p>			


文部科学省外国人留学生学習奨励費受給者留学報告書

1.アルファベット氏名	ZHANG YICHI	
カナ又は漢字氏名	張亦弛	
2.出身国又は地域	中華人民共和国	
3.学年	4年	
4.学校名	中央大学	
5.学種	大学学部	写真 タイトル 由布院にて
6.所属研究科・学部等名	経済学部国際経済学科	
7.学習奨励費受給期間	開始年月 20 22 年 4 月 ~ 終了年月 20 23 年 3 月	
<p>(1) 日本への留学まで</p> <p>小さい頃から日本のアニメやドラマに惹かれ、かつ語学に興味があるため、高校2年生の時、将来中国の外国語専門の大学の日本語学科に進学しようと考えました。しかし、中国で日本語を学ぶ場合、学校以外の場面で日本語を使う機会がほとんどないと思います。そのため、実際に日本に行って、語学もさることながら、法律や経済などの専門知識も身につけたいと思い、日本留学を決意しました。</p>		
<p>(2) 日本での留学生活</p> <p>最初の1年間、日本語学校に通いました。実際に中国で3ヶ月ぐらい日本語を勉強したのに、日本へ来たばかりの頃、また日本語を聞き取れず、喋れない状態でした。自分の日本語力を上達させるため、コンビニでのアルバイトを始めました。日本の大学へ進学を目指し、アルバイトをしながら、EJUや大学の留学生入試に関連する小論文などを勉強し、現在在籍している大学に合格しました。大学時代には、学業だけでなく、サークルの運営や長期インターンシップの参加にも力を入れました。さまざまなイベントの参加を通じて、得たものは二つあると思います。まずは自分の視野が広がったこと。コロナウイルスの影響を受けたものの、オンラインのサークルの活動で世界中の学生との交流できて、自分が多大な刺激を受け、世界への理解が深まった。二つ目は自ら行動すること。高校まで、ずっと受け身でやらせてもらうことをしかやりませんでした。1人で渡日し、将来どのような生活を過ごしたいのか、他の人の力を貸せず、日本で1人で自立したいという思いを考え始め、様々な社会活動に参加し、自分から課題を見つけ、解決するようになりました。</p>		
<p>(3) 日本での就職活動・進学</p> <p>来年の4月からは、日系企業で就職する予定です。今回頂いた学習奨励費のおかげで、就職活動に集中することができ、大変助かりました。</p> <p>また、私の就職活動はやや特殊で、短期インターンシップではなく、長期インターンシップに参加しました。日本語を鍛えるだけでなく、社会人になる前に実際に働く経験をして、自分自身の成長につながる良いチャンスだと思います。</p>		
<p>後輩へのメッセージ</p> <p>今までの留学生活を振り返ってみると、1番後悔しているのは渡日前に予め日本語をしっかりと勉強しなかったことです。日本の語学学校を卒業して、幸い今の大学に合格することができたが、入学したばかりの頃は授業の内容がほとんど聞き取れず、日本人の友達との交流も大変で、苦い思いをしたのです。なので、私を反面教師として、将来日本へ留学することを検討している皆さんには、事前にN2レベルの日本語を身につけることをお勧めします。</p>		


文部科学省外国人留学生学習奨励費受給者留学報告書

1.アルファベット氏名	WANG JINGJING	非公開
カナ又は漢字氏名	オウ セイセイ	
2.出身国又は地域	中国	
3.学年	3年生	
4.学校名	嘉悦大学	
5.学種	大学学部	写真 タイトル
6.所属研究科・学部等名	経営経済学部経営経済学科	
7.学習奨励費受給期間	開始年月 20 22 年 4 月 ~ 終了年月 20 23 年 3 月	
<p>(1) 日本への留学まで</p> <p>高校を卒業して、進学に迷って時、友達から日本へ留学の助言をもらいました。そして日本は経済や文化で様々な国と繋がっていることがわかりました。日本に留学することを決めて、日本語を教えるの私塾に入りました。中国で日本語を3カ月勉強して、あと、日本の文化や考え方も身につけるために、来日しました。</p>		
<p>(2) 日本での留学生活</p> <p>日本留学は私にとって最良の決定だったと思います、日本に来て日本学校に入学して、日本語の勉強から留学生活を始めました。大学への進学を準備して、試験を受けていました。日本での学費、生活費などの費用はできるだけアルバイトで稼いだお金で払っていました。学習奨励費を受給できたこの1年は、学費等の一部にあてることができ、大変たすかりました。学校とかアルバイトとかたくさんの友達ができて日本での生活は楽しかったです。日本語を喋ってコミュニケーションをしているうちに日本語の実力も向上していました。</p>		
<p>(3) 日本での就職活動・進学</p> <p>日本の商社や貿易関連の会社に就職することを目標としています。就職説明会など積極的に参加する。学習奨励費に受給していたおかげで、就職活動のため時間に余裕がある、本当に助かりました。これから就職面接に合格するため努力しています。</p>		
<p>後輩へのメッセージ</p> <p>自分の夢や憧れに向かって頑張れば、自分の目標が必ず達成できるので、ぜひ頑張ってください。</p>		


文部科学省外国人留学生学習奨励費受給者留学報告書

1. アルファベット氏名	YANG SEOA	
カナ又は漢字氏名	ヤン ソア	
2. 出身国又は地域	韓国	
3. 学年	2年生	
4. 学校名	デジタルハリウッド大学	
5. 学種	大学学部	写真 タイトル
6. 所属研究科・学部等名	デジタルコンテンツ学科	日の出はなび
7. 学習奨励費受給期間	開始年月 20 22 年 4 月 ~ 終了年月 20 23 年 3 月	
<p>(1) 日本への留学まで</p> <p>最初は日本のアニメやブランドが好きだったので、ひたすら美術と日本語の勉強を続けていました。そんな中で、美術の塾の先生から日本への留学を勧められ、高校2年生の頃、日本への留学を決めることになりました。高校2年生の夏にJLPT N1に合格し、奨学金の受給を目的にEJUの勉強に集中しました。</p> <p>私は地方に住んでいたため、夏休みや春休みの間を活用してソウルに行き、寮で生活しながら留学専門の塾で入試の準備をしました。その間には日本語の勉強は一人でしていましたが、毎朝図書館でEJUの問題集を解いたり、日本の社説を読んだ覚えがあります。</p>		
<p>(2) 日本での留学生活</p> <p>コロナ禍で日本に入国できず、2年生の7月から日本に入国できました。突然な入国だったので、入国する前には地元から離れた新しい環境への不安感が大きかったのですが、入国後は全てが新鮮だったので、とても新鮮な生活ができました。夏休みに大学の友達と旅行に行ったり、アルバイトをしながら新しい人々に出会ったり、一つ一つのことで経験の幅を広げられました。学校では、同じ専攻の友達や先輩と知識を分け合うことでモチベーションを上げました。</p> <p>もちろん他国での生活の中で、病気や人間関係の問題などで辛いときも何回かありましたが、大人としてもっと強くなるための経験の一環だと思います。</p>		
<p>(3) 日本での就職活動・進学</p> <p>就職や進学についてはまだ迷っていますが、まずは目の前のことに集中していきたいと思います。3年生からは作品とポートフォリオの制作を中心に、インターンシップにも積極的に参加しながら就職活動に挑みたいと思います。</p>		
<p>後輩へのメッセージ</p> <p>他国で生活しながら勉強するということは辛いことや難しいことも多いと思います。しかし、この経験の中で得られることはとても多いです。目の前のことに集中して、ぜひ4年間の時間を大切にして頑張ってください！</p>		


文部科学省外国人留学生学習奨励費受給者留学報告書

1.アルファベット氏名	KIM SOOYOUNG	
カナ又は漢字氏名	金 秀泳	
2.出身国又は地域	韓国	
3.学年	1年生	
4.学校名	愛知大学	
5.学種	大学学部	写真 友達と一緒に愛知大学の前で雪たまるま タイトル 作り
6.所属研究科・学部等名	国際コミュニケーション学部 国際教養学科	
7.学習奨励費受給期間	開始年月 20 22 年 4 月 ~ 終了年月 20 23 年 3 月	
<p>(1) 日本への留学まで</p> <p>日本の留学まで一番苦しかったことは、コロナのせいで日本に行けないかもしれないという不安でした。2020年コロナの伝播で周辺の留学生たちはほぼオンラインでの勉強をし、日本の生活を楽しみながら勉強をすることは不可能だと思いました。そして2年後、愛知大学に合格し、日本に行けるようになりましたが、本来なら大学3年生の歳で両親のお金をもらって学校に行くことも辛いことでした。しかし、愛知大学の奨学金や文部科学省の外国人留学生奨学金のおかげでその辛さは少なくなりました。</p>		
<p>(2) 日本での留学生活</p> <p>2年間の不安を振り落とすように私は一生懸命大学1年生の生活を楽しみました。勉強を頑張りましたがと言いたいですが、実は勉強を一生懸命しましたかと聞かれたらそうでもありませんでした。勉強と共に日本人の友達と遊び、日本のあちこちを旅行し、人生最高の時期だとしても過言ではないほど幸せな時間を過ごしました。もちろん、幸せなことだけではなく、大変なことも多かったです。普段、料理をしたことがない私は外食を楽しんで、自転車に乗ることにトラウマがあって公共交通機関しか利用できなかった私としては、奨学金は非常に役に立ちました。また、家賃の大分をこの奨学金が解決してくれたため、自分としては学費以外の生活費だけ耐えれば良かったので、多くの留学生の悩みである経済的な負担が著しく低かったです。そのおかげで私はこの1年幸せな留学生活ができました。</p>		
<p>(3) 日本での就職活動・進学</p>		
<p>後輩へのメッセージ</p> <p>私はJLPTの1級をとってから日本に来ましたので日本語に自信がありましたが、大学で使う日本語と実生活で使う日本語はとても違いました。なので普段ニュースだけでなく、実際に日本人が使っている日本語をYouTubeでもよく聴いてくると良いと思います。また、本を読んで課題を提出することもあるので、私たちのような外国人は読む速度が日本人の学生に比べ遅いので、必ず普段から日本語の本を読んでおいたほうが良いと思います。それ以外にも料理の練習をしたり、私のように自転車に乗れなかったら自転車に乗る練習をしておくことがお金を節約するのに役立つと思います。日本に来たら家賃だけでなく保険費や管理費など出すお金が思ったより多いので、正しい消費習慣を身につけて来た方が良いでしょう。</p>		

文部科学省外国人留学生学習奨励費受給者留学報告書

1.アルファベット氏名	PAN QI	
カナ又は漢字氏名	ハン キ	
2.出身国又は地域	中国	
3.学年	4年	
4.学校名	中京大学	
5.学種	大学学部	写真 タイトル ノリタケミュージアムの見学
6.所属研究科・学部等名	国際教養学部国際教養学科	
7.学習奨励費受給期間	開始年月 20 22 年 4 月 ~ 終了年月 20 23 年 3 月	
<p>(1) 日本への留学まで</p> <p>仕事で度々日本に出張していた父や、日本人と結婚した叔母の影響で、小さい頃から日本に親しみや憧れを抱いていました。高校卒業のタイミングで叔母からの勧めもあり、日本へ留学することを決意しました。その後の半年間、中国で留学ビザを申請すると同時に、日本語も一生懸命勉強していました。</p>		
<p>(2) 日本での留学生活</p> <p>来日の3か月後、日本語がまだ流暢に話せない私はアルバイトをやり始めました。お客様に敬語を使わなかったため、お客様からクレームを頂き、店長によく注意されました。その後、私はしっかりと自分の能力不足を反省して、日本語の勉強の計画を立てました。職場では積極的に敬語や日本のマナーを学んだり、先輩たちが使う言葉遣いを真似したりすることで、お客様や仕事仲間に好まれる人になるように努力しました。様々なお客様とコミュニケーションを取ることができ、日本語も徐々に上達し、来日1年間で日本語能力検定のN1を取得しました。</p>		
<p>(3) 日本での就職活動・進学</p> <p>学習奨励費が支給されたおかげで、アルバイトの時間を減らして、就職活動に集中することができました。大学で日本語、英語、フランス語を同時に学んでいたため、学習奨励費で英語やフランス語の教材を買って、一生懸命語学力を磨いていました。私は語学力の強みを活かして、母国と日本、さらに日本と世界の架け橋になり、グローバル人材として世界の舞台上で活躍したいと考えます。そこで、私は「日本と外国を結ぶ架け橋となる仕事がしたい」という就職活動の軸を持って、しっかり企業研究を行いました。就職活動でたくさんの失敗を経て、やっと世界中に拠点がある製造業界の会社から内々定をいただき、今年の4月に入社することを決めました。</p>		
<p>後輩へのメッセージ</p> <p>日本での生活を順調に進めていくには、やはり日本語能力が最も重要なことです。きちんと日本語を勉強し、自分の目標や進路についてよく考えてください。海外に留学している皆さんにとって、自立と自律という2つの「じりつ」が最も大事だと思います。自分ひとりで物事を行うことと自分の決めたルールに従うことができたなら、素晴らしい人生を送れるでしょう。</p>		


文部科学省外国人留学生学習奨励費受給者留学報告書

1.アルファベット氏名	CHEN HONHXU	
カナ又は漢字氏名	陳 泓旭(チン オウキョク)	
2.出身国又は地域	中国	
3.学年	3年	
4.学校名	四日市大学	
5.学種	大学学部	写真 タイトル 秋
6.所属研究科・学部等名	総合政策学部総合政策学科	
7.学習奨励費受給期間	開始年月 20 22 年 4 月 ~ 終了年月 20 23 年 3 月	
<p>(1) 日本への留学まで</p> <p>高校3年生の時に日本に留学することを決め、日本を選んだのは文化が近く、日本のバラエティを見るのが好きだったからだ。留学の前に一度日本を観光し、入学する日本語学校を実地見学し、それから半年ほど日本語を勉強した。</p>		
<p>(2) 日本での留学生活</p> <p>福岡で2年間日本語学校に通い、その後、名古屋で生活した。名古屋に来てからの生活は、コロナ禍のため、大学1年の時は基本的にオンライン授業となり、友達ができなくて退屈だったが、その後は状況が徐々に変わり、勉強やアルバイトを通じて多くの友達ができた。学習奨励費を受給できたことで余裕ができ、勉強をはじめ色々なことに挑戦出来た。日本語能力試験検定1級を取得し、他にも世界遺産検定、ECO検定、国内旅行業務取扱管理者の資格を取得した。時間がある時は日本各地を旅行し、知らない日本の風土や人情を見るのが好きだ。これからも日本全国を旅したいと思う。</p>		
<p>(3) 日本での就職活動・進学</p> <p>自分の興味がある道をもっと深く知り、大学院に入って勉強し続けたい。</p>		
<p>後輩へのメッセージ</p> <p>日々感謝</p>		


文部科学省外国人留学生学習奨励費受給者留学報告書

1.アルファベット氏名	HU JIAMING	非公開
カナ又は漢字氏名	コ カメイ	
2.出身国又は地域	中国	
3.学年	1	
4.学校名	花園大学	
5.学種	大学学部	写真 タイトル
6.所属研究科・学部等名	社会福祉学部	
7.学習奨励費受給期間	開始年月 20 22 年 4 月 ~ 終了年月 20 23 年 3 月	
<p>(1) 日本への留学まで 中学三年生の時に日本の高校へ留学することを決めました。2018年から母国で日本語で学んで、2019年4月に来日しました。</p>		
<p>(2) 日本での留学生活 日本での生活は思ったより順調に慣れることができました。高校時代の先生たちのおかげで、楽しい高校生活を過ごすことができました。それから大学に進学し、いろんな知識に接触し勉強しています。大学での充実した一年間を過ごすことができましたと思います。</p>		
<p>(3) 日本での就職活動・進学 大学卒業後は大学院に進学を希望しています。このため就職はまだ考えていません。</p>		
<p>後輩へのメッセージ どんな目標を持って日本に来て、日本語能力が一番重要です。基盤としての日本語を上手にできると、自分の目標もより簡単に達成できると思います。</p>		


文部科学省外国人留学生学習奨励費受給者留学報告書

1.アルファベット氏名	SHI Qing	
カナ又は漢字氏名	石清 セキセイ	
2.出身国又は地域	中国	
3.学年	一回生	
4.学校名	立命館大学	
5.学種	大学学部	写真 タイトル 何か期待している私
6.所属研究科・学部等名	食マネジメント学部・学科	
7.学習奨励費受給期間	開始年月 20 22 年 4 月 ~ 終了年月 20 23 年 3 月	
<p>(1) 日本への留学まで 2016年8月に日本に旅行し、日本の魅力に魅了された。これが、日本に留学するきっかけとなり、日本への留学を考えはじめた。</p>		
<p>(2) 日本での留学生活 2019年4月に留学を始め、日本・福岡市に住むようになった。 同年、福岡の日本語学校に入学し、日本語を2年間勉強していた。 2021年に日本語学校を卒業した。 同年、大学受験を失敗し、英語・日本語系専門学校に出願し、合格した。 同年の3月に専門学校の国際文化科・大学進学コースの学生として、入学した。 また、1年間専門学校で日本語及び留学生入試に関する勉強をしていた。 2022年の1月に京都産業大学に合格した。 2022年の2月に立命館大学食マネジメント学部合格というニュースを受け取り、滋賀県・草津市に住むようになり、現在に至る。</p>		
<p>(3) 日本での就職活動・進学 立命館大学を卒業し、イギリスの大学院に進学する。その後、日本で就職しようとする。</p>		
<p>後輩へのメッセージ 日本語学校でも、専門学校でも、いつも自分の日本語のリスニングが弱いと自覚し、両親と相談し、日本語先生を招いた。そこから、主に聴解や読解に特化し、練習した。また、日本語学校にいた時、塾にも通っていた。しかし、塾の授業が自分に合わず、大きな成果を出せなかった。また、日本で留学するようになったからといって、英語を特に勉強しなくて大丈夫だと考えたら大間違いだ。やはり、いい大学に入りたいなら、英語を日本語のように毎日勉強するのを勧める。 大学に入学する前の時期は努力期だと自分で名づけ、高校生のように毎日勉強するのを勧める。そのため、具体的な学習計画を決める。例えば、毎日何を勉強するか、いつぐらい勉強するか、到達目標はどのぐらいあるかについてしっかり考えることが必要だと考える。たまに遊びはいいが、合理的に時間をコントロールしよう。</p>		

文部科学省外国人留学生学習奨励費受給者留学報告書

1.アルファベット氏名	PAN CHENYING		
カナ又は漢字氏名	ハンシンヨウ		
2.出身国又は地域	中国		
3.学年	1		
4.学校名	大阪産業大学		
5.学種	大学学部		写真 タイトル ディズニーランドにて
6.所属研究科・学部等名	経営学部		
7.学習奨励費受給期間	開始年月 20 22 年 4 月 ~ 終了年月 20 23 年 3 月		
<p>(1) 日本への留学まで</p> <p>私が日本にきた理由は、小さいころから旅行が好きで、いろいろな場所に行って、いろいろな人と話したくて、世界を見に行きたいと思い、高校を卒業する前に留学しようと自ら決断しました。日本を選んだのは、ずっと日本のアニメや漫画を見てきて、実際に日本で見てみたいと、興味を持ったからです。日本で生活するようになって、あっという間に2年目となり、1年目は日本語が全く話せず、日本語学校で1年間日本語を勉強しました。2年目は大学に入り日本語が少し話せるようになりましたが、友達ができるようになり、日本語が上達していき、そのおかげでコミュニケーションが上手く取れるようになりました。</p>			
<p>(2) 日本での留学生活</p> <p>日本に来てから2年が経ちました。日本に来た当初は、普通のアパートに一人で住んでいました。学ぶことと同じように、留学して日本の文化や伝統を体験することも大切だと思います。日本は豊かで安全、清潔で美しい国であり、人々は親切で優しいと思います。この国の暮らしは、いつも忙しく、そして静かだ。日本は社会制度が充実しており、健康保険制度もあり、交通の便もよく、電気技術も優れていると思います。奨学金のおかげで時間に余裕ができたので、人生の素晴らしさをより味わうことができるようになりました。また最近、ギターを習っています。友人を家に招いたときは、テレビゲームをしたり、映画を見たりして、一緒に楽しみます。</p>			
<p>(3) 日本での就職活動・進学</p> <p>将来、私は日本において働きたいですので、日本人の考え方や日本の文化をよく理解するのは大事な事だと思います。そのために、勉強以外の時間は、日本人の先輩や友達といろいろなことを話すようにしています。日本のアニメ文化、アイドル文化、文学、景気などの経済動向、そして、先輩たちの価値観や考え方も聞いたりしています。多様な経験を積んでいく為に、不動産会社でアルバイトをしています。そうしたことから、私は今日でも日本の不動産について強い関心を持っています。今、宅地建物取引士試験を目指して学校の宅地建物取引士試験対策講座で勉強しています。</p>			
<p>後輩へのメッセージ</p> <p>留学をする前に準備しておくことを目標を持つことだと思います。私が留学をしたかった最大の理由は日本語を話せるようになるという目標が日本国内にいながら叶うからです。目標や夢の無いまま留学に行ってしまうと結局何のために頑張るのか明確じゃないまま生活する事になります。例えば日本の大学に進学することが目的。こんな感じで、それぞれ理由があります。目標を持って、目標を叶えられるよう計画を立てて留学に行きましょう。</p>			


文部科学省外国人留学生学習奨励費受給者留学報告書

1. アルファベット氏名	LOHAPRATARN TANWA	
カナ又は漢字氏名	ローハプラターン タンワー	
2. 出身国又は地域	タイ	
3. 学年	4	
4. 学校名	京都精華大学	
5. 学種	大学学部	写真 タイトル 「あけおめ~!!!!」
6. 所属研究科・学部等名	マンガ学部	
7. 学習奨励費受給期間	開始年月 2019年 4月 ~ 終了年月 2023年 3月	
<p>(1) 日本への留学まで</p> <p>「日本へ留学に行こう」と初めて真面目に思ったのは高2の時でした。進学路のレポートを書かされ、適当に色々調べているうちに本気になっていた気がします。最初に親に話したとき父に反対されたんですが、母に日本語教室に通うことの許可ももらったので、高3になって週に3~5回くらい放課後に日本語を勉強していました。その間に父の留学許可ももらい、2017年に高校卒業して3か月神戸市の日本語学校に通い始めました。それから、もう一度タイに戻り、軍団学校に通いながら日本語と漫画の勉強を続けました。2019年に入って、EJUの結果で入学試験を受けて、第一志望の京都精華大学に入学しました。それまでの人生で一番うれしいことでした。日本語先生の方々に色々助けてもらえて、今でも感謝しています。</p>		
<p>(2) 日本での留学生活</p> <p>一年生の前期はほぼ一人ぼっちでした。高校の時全然友達作っていませんでしたので、慣れていない文化の中で社会勉強に努力し始めたころは余計にストレス溜まっていました。耳に入った色々なイベントやアルバイトに応募・参加しました。学習奨励費をもらい続けるために、成績のことも気にしながら授業を頑張っていました。そのおかげ、一年生の後期から友達がどんどん増えて、今は日本人の友達も留学生の友達もいてみんなと楽しく過ごしています。漫画の方も頑張ったり、色々な新人賞に投稿しています。もうすぐ卒業するのが嫌になってきたくらい大学生生活は充実しています。</p>		
<p>(3) 日本での就職活動・進学</p>		
<p>後輩へのメッセージ</p> <p>日本に来ることだけでなく、日本に来てからのことも色々想像してみるのもいいじゃないかなと思います。やりたいことがあったらあんまり迷わずに挑戦してみることをお勧めします。日本にうちにいるうちにやりたいことはだんだん増えていくと思いますから、早くやっつけていかないとあっという間に卒業してしまいますよ！あと、あんまりストレスないように気をつけてください！</p>		


文部科学省外国人留学生学習奨励費受給者留学報告書

1.アルファベット氏名	TAN FANGYI	非公開
カナ又は漢字氏名	譚方一	
2.出身国又は地域	中国	
3.学年	1年	
4.学校名	成安造形大学	
5.学種	大学学部	写真 タイトル
6.所属研究科・学部等名	イラストレーション領域	
7.学習奨励費受給期間	開始年月 20 22 年 4 月 ~ 終了年月 20 23 年 3 月	
<p>(1) 日本への留学まで</p> <p>日本に留学する前から日本のアニメが好きでした。最初は趣味で日本語を勉強する塾に行きましたが、それをきっかけに日本に留学したいと思い始めて家族に自分の考えを伝え、留学を目的にして日本語と絵の勉強に取り組み始めました。母国にいる時は専門大学で勉強しているので、時間がたっぷりあります。それらの時間を生かして、留学の準備を進めていました。日本に来ることを決めてから3年から4年間をたち、21年12月の下旬に日本に来ました。</p>		
<p>(2) 日本での留学生活</p> <p>最初は神戸の日本語学校で勉強しました、一年目の七月ぐらいから大学の試験の準備を始めました。出願書類、志望理由書の準備から面接や日本語、絵の練習まで、忙しい毎日を過ごしていた。何回失敗してしまいましたが、幸いなことに最後の試験で無事に合格できました。今の大学の生活は課題は結構あったほか、自分が好きな課題もすごく多いので課題に沢山の時間を使いました。一方、バイトはしていません、なぜかという、大学の勉強でかなり時間と精神力を使っていますから。もしバイトも入れると、勉強に支障が出るかもしれません。時間が結構余裕であれば、日本語力を向上させるためにもやってみたいです。</p>		
<p>(3) 日本での就職活動・進学</p> <p>ゲームやアニメが好きなので、美術大学に進学することにしました。今の原神やウマ娘のようなプレイヤーに国の文化や歴史などのことをゲームのキャラクターデザインに通して伝えるのがあこがれて、将来、自分もゲーム会社でキャラクターデザインの仕事に携わりたいため、精華大学、成安造形大学をターゲットにしました。</p>		
<p>後輩へのメッセージ</p> <p>まずバイトについてですが、バイトをすることはもちろん問題がないですが、バイトをしすぎて勉強に影響しないようにしたほうがいいと思います。そして、進学については、絶対早目に準備したほうがいいです。出願のスケジュールを作って、出願書類が締め切りに間に合うように準備しておいたほうがいいです。留学生に向けた試験は結構少ないから、書類が間に合わなくて出願出来なかったらもったいないです。</p>		


文部科学省外国人留学生学習奨励費受給者留学報告書

1.アルファベット氏名	PHAM THI LY	
カナ又は漢字氏名	ファム ティ リー	
2.出身国又は地域	ベトナム	
3.学年	4年	
4.学校名	広島経済大学	
5.学種	大学学部	写真 タイトル になりたい自分になって！
6.所属研究科・学部等名	経済学部 経済学科	
7.学習奨励費受給期間	開始年月 20 22 年 4 月 ~ 終了年月 20 23 年 3 月	
<p>(1) 日本への留学まで</p> <p>私の兄は私より先に日本に留学していて、兄から聞いた話がきっかけで、日本のことに興味を持ちました。日本は勉強する環境もいいし、仕事のチャンスもたくさんあると思って、日本へ留学することを決めました。ベトナムの高校を卒業し、半年ぐらい日本語を勉強して、日本に留学しました。</p>		
<p>(2) 日本での留学生活</p> <p>日本に来て最初の2年間は、日本語学校で日本語を勉強しました。高校を卒業してから日本へ来たため、人生経験がゼロと言っても過言ではないし、日本での生活は知らないことがたくさんあって、どうしようと悩むこともありました。そんな時に、国籍関係なく、先生、先輩、友達がそばにいて、応援して、一から教えてくれました。心から感謝しています。</p> <p>その後、日本語学校を卒業し、広島経済大学に入学しました。2020年の大学2年生の時、新型コロナウイルスの影響で、授業が全部オンラインになって、一人で過ごす時間が増えました。最初は戸惑いでしたが、この時間を有効に使うべく資格取得と学業に力を入れ、また、2020年度の広島留学大使の活動にも参加しました。その結果、ファイナンシャルプランナーの資格を取得、2020年度成績学年トップになり、優秀賞をもらいました。そして、ひろしま留学大使としても、多くの人に広島の魅力を伝えることができました。</p> <p>留学で学問的に多くのことを学べただけでなく、多くの人と出会い、関係を築くことができました。こうした留学生活を通じて、自分が大きく成長できたと感じ、充実した生活を送ることができたと思います。</p>		
<p>(3) 日本での就職活動・進学</p> <p>日本への留学を決める時、日本の大学を卒業したら、日本で就職することも決めました。その決意をもって、大学2年生から、資格取得に力を入れて、3年の時にはエントリーシートや業界研究、SPIの勉強をしました。そして、4年生の時、学習奨励費のおかげで、経済的な面を心配することなく、就活に専念することができました。結果、早い時期に複数の会社から内定をもらいました。最終にその中からIT会社を選びました。</p> <p>日本で就職したい方は早めに準備することをお勧めします。</p>		
<p>後輩へのメッセージ</p> <p>目標を設定して、行動してください。目標に向かっていく間、うまくいかない時もありますが、そんな時も諦めずに最後まで努力すれば、夢は叶います。</p>		


文部科学省外国人留学生学習奨励費受給者留学報告書

1.アルファベット氏名	TRAN THI THANH TUYEN	
カナ又は漢字氏名	チャン ティ タン トウエン	
2.出身国又は地域	ベトナム	
3.学年	4	
4.学校名	活水女子大学	
5.学種	大学学部	写真 タイトル ボランティア活動に参加した時
6.所属研究科・学部等名	国際文化学部・日本文化学科・地域ビジネスコース	
7.学習奨励費受給期間	開始年月 20 22 年 4 月 ~ 終了年月 20 23 年 3 月	
<p>(1) 日本への留学まで</p> <p>私の人生には、発見して学びたいことがたくさんあります。ベトナムにいるときから国内だけでなく海外でもたくさん経験したいと思っていました。それが私が日本留学を選んだ理由です。本に書いてあることや教師に教わった教訓よりももっと多くのことを学びたいです。将来、人に教えられるように、今よりも成熟した自分になることが目標です。</p> <p>私は、家族に家族が知らなかった新しいことを話してあげたいです。また、両親が行ったことのないところにも連れて行ってあげたいです。</p> <p>留学先は世界中にたくさんありますが、その中で私は最初に日本を選びました。日本には独特な文化があるだけでなく、おもてなしの精神や日常生活での親しみやすさ、規律、新鮮な空気があります。反対に犯罪などが少ないことは世界でも知られています。</p> <p>また、日本には多くの自然災害がありますが、そのことが民族を強くし、生き延び続けさせ、経済も発展させることにつながったのだと思います。私はそこから日本人の考え方や文化に興味がわきました。</p>		
<p>(2) 日本での留学生活</p> <p>外国での生活は勉強も仕事も楽ではありません。時々すべてのことを投げ出して家族のもとに帰りたいと思うこともあります。しかし、困難を乗り越えた時にこそ新たな学びがあることに、留学生活を通じて気づきました。</p> <p>昨日よりも学び、すこしでも成長することが、人生をより良くするのに必要です。私はこの先の留学生活でももっと多くの困難があることは分かっていますが、その困難を克服し、より成長した自分になりたいです。</p> <p>JASSOの奨学金のおかげで、私の留学生活は変わりました。経済的な心配がなくなり、アルバイトの時間を減らすことができました。代わりに私はボランティアに参加したり、日本の料理を学んだり、新しい友達も増えました。今までよりも毎日の生活が楽しくなってきました。</p>		
<p>(3) 日本での就職活動・進学</p> <p>日本で勉強することと仕事をするのが私の夢です。私はまだ夢がかなう道のりの途中にいます。現在、大学では日本の文化と経済について勉強しています。大学を卒業したら日本の企業で働きながらさらに学び、日本に永住したいと思っています。将来はツアーガイドを目指し、日本の文化や料理などを多くの人に伝える仕事がしたいです。</p>		
<p>後輩へのメッセージ</p> <p>努力し続けることで自分の願いや夢が叶います。人生には喜びや悲しみ、困難もあれば幸運もありですが、どんな時もあきらめずに前に進んでください。皆さんの成功を祈っています。</p>		

文部科学省外国人留学生学習奨励費受給者留学報告書

1.アルファベット氏名	THOMPSON SIEW KHUNG SZEN	
カナ又は漢字氏名	トムソン ス クン ゼン	
2.出身国又は地域	マレーシア	
3.学年	専攻科2年生	
4.学校名	新潟工業短期大学	
5.学種	短期大学	写真 タイトル 日本最北端・北海道稚内市・宗谷岬
6.所属研究科・学部等名	専攻科 自動車工学専攻	
7.学習奨励費受給期間	開始年月 20 22 年 4 月 ~ 終了年月 20 23 年 3 月	
<p>(1) 日本への留学まで</p> <p>高校の時、アニメや自動車に関するきっかけで、日本で留学したかったのですが、最初は日本に来るために必要な過程などがわかりませんでした。高校卒業後、ネットで知り合った友人に紹介してもらって、地元の日本語学校施設で日本語を勉強し、お陰様で2017年10月に来日することが達成しました。</p>		
<p>(2) 日本での留学生活</p> <p>最初の1年目は、日本語能力が片言しかできなくて、特にアルバイト環境で苦い経験がたくさん感じましたが、そのきっかけで言語の理解・聴力などの経験を積み重ねて、日本語能力試験で無事にN2を取得して合格しました。近年の物価高騰ですが、学習奨励費などの支援のお陰で、日常生活の負担が減らすようになりました。</p>		
<p>(3) 日本での就職活動・進学</p> <p>2021年3月に本学の2年制自動車工業科を卒業して二級自動車整備士資格を取得しましたが、一級自動車整備士資格も存在し、日本人でも一級自動車整備士資格は難しいと聞きました。本学でもこの資格を取得することができ、自分をもう一つレベルアップしてみたいと思いましたので、本学の自動車専攻科に進学することを決意しました。年内に卒業すると、新潟県内の内定が決まっている大手自動車ディーラーに就職し、夢を叶えたいと思います。本科と違って、ハードルが高いですが、自分のスキルを鍛えて、社会貢献できるようになりたいと思います。</p>		
<p>後輩へのメッセージ</p> <p>日本語勉強は言語だけでは足りないなので、加えて観光と来日生活は明らかに違いが見えます。勉強ばかりだけではなく、周りの人と交流し、旅行して良い環境を見つけましょう。世界中がよく懂れている日本文化などは、人生にとって良い学びになると思います。是非、留学を一つの方法で、日本生活を体験して見ましょう。</p>		

文部科学省外国人留学生学習奨励費受給者留学報告書

1.アルファベット氏名	LO FENGYUEH	
カナ又は漢字氏名	ラ ホウタケ	
2.出身国又は地域	台湾	
3.学年	2	
4.学校名	東大阪大学短期大学部	
5.学種	短期大学	写真 タイトル 和歌山千畳敷
6.所属研究科・学部等名	介護福祉学科	
7.学習奨励費受給期間	開始年月 20 22 年 4 月 ~ 終了年月 20 23 年 3 月	
<p>(1) 日本への留学まで</p> <p>日本の文化や音楽やドラマなどが好きです。日本語の勉強はドラマを見ながらわからない言葉を調べて少しずつ覚えてきました。そして、日本に来る前は日本語能力試験N1合格しました。しかし、台湾で日本語を話す機会があまりなかったです。日本語でコミュニケーションをもっと上手に話せるように日本へ留学することを決めました。</p>		
<p>(2) 日本での留学生活</p> <p>学校の勉強しながらアルバイトをしています。アルバイトはお金を稼ぐためだけではなく、日本語会話能力の向上や接客マナーの習得などもできます。大学の生活には介護福祉士国家試験の準備や実習や就活などいろいろありまして大変だけど毎日充実しています。</p>		
<p>(3) 日本での就職活動・進学</p> <p>学習奨励費のおかげでアルバイトの時間が減り国家試験や就職活動の時間が増えることができました。これからは介護福祉士の資格を取って学校で学んだ知識を職場で生かして社会貢献できるように頑張っていきたいと思います。</p>		
<p>後輩へのメッセージ</p> <p>日本へ留学する前にN3やN2くらいのレベルを勉強した方がいいです。そして、日本に来て日本語を中級以上の勉強に集中とたくさん会話の練習するほうが一番効果的だと思います。さらに日本で就職や働きたい方には色々な日本ビジネスマナーや敬語の使い方は覚えなければなりません。事前に先生と面接練習がとても大切です。</p>		